

# 大分大学教職大学院

## 教職大学院教員と大分県指導主事とが共に学ぶ研修の実施

(研修事業名：「これからの教育行政と教職大学院の連携・協働の在り方を探る」)

### 研修の目的：

ポスト教員免許状更新講習を見据え、「学び続ける教員像」の実現に向けて、教職大学院には今後ますます地元教育委員会や学校等との連携・協働が求められる。その素地を作るために、今回は指導主事等との意識の共有を図ることを目的とした。

### 研修の内容：

教職大学院と教育委員会との連携・協働が進んでいる地域（茨城県・岡山県・徳島県）の取組を取り上げた。このような連携・協働の姿は一朝一夕にできるものではなく、到達までの過程の大事さに気づける内容とした。

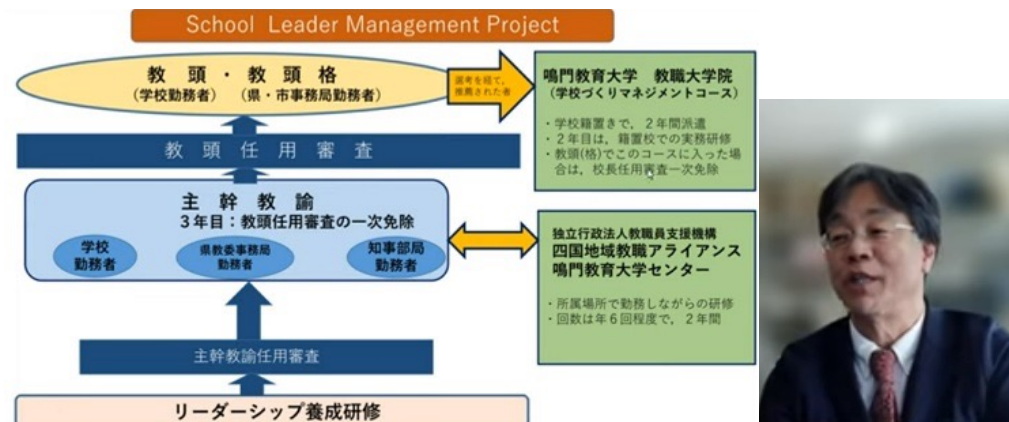
### 日程・参加者等：

令和4年11月から翌5年1月の間に3回、それぞれ報告30分、交流10分とした。リアルタイムとオンデマンドを組み合わせることで、受講者数は教職大学院教員17名、指導主事等137名であった。（受講延人数はこの3倍）

### 成果と課題：

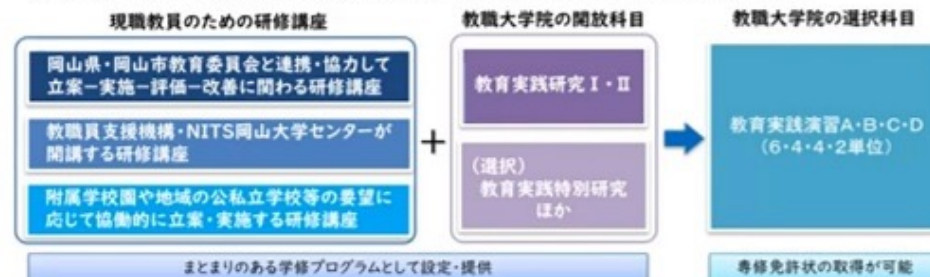
大分県教育委員会教育人事課との連携により、県内の指導主事等の参加が実現し、画期的であった。受講者から「研修参加が教員のインセンティブにつながる取組に、両者の信頼の厚さを感じた」など前向きな意識形成が見受けられ、令和5年度事業への弾みとなった。

本研修は教職員支援機構の「NITS・教職大学院等コラボ研修プログラム支援事業」に採択されて実施したものである。



### 岡山大学教職大学院ラーニングポイント制の概要

研修講座と教職大学院の授業を組み合わせたプログラムによって、現職教員の学修の機会を保障し、その成果を教職大学院の単位として授与する。



- ◆ 教員が自らの教職生活を通じた総合的な資質能力の向上
- ◆ 教職生活を通じた資質・能力の向上を継続的に支援・評価
- ◆ 研修講座等の修了証明を活用しながら大学院相当の学修

上段は鳴門教育大学のリーダーシップ研修について説明する前田洋一教授，下段は岡山大学のラーニングポイント制を説明する高瀬淳教授。

